



鹿児島県立鹿児島中央高等学校

進路指導室だより

発行：進路指導部企画運営係

前期 進路検討会

去る6/9(木), 7/5(火), 6(水)の3日間, 午後から進路検討会が行われた。

進路検討会では生徒1人1人の進路志望や学習態度に加えて, 6月進研マーク模試や実力考査の結果も参考にして, 進路志望を達成させるためにはどんな対策をとればいいのか, 個々の適性にあった進路は何かということについて, 3年生全員について議論した。

今回の進路検討会は, 生徒の希望する学部学科の個別学力試験(2次試験)に合わせて, 12月までの長い期間をどう勉強するか作戦を立てる会議である。例えば, 工学部機械科志望であれば, 受験科目は数学, 物理, 化学, 英語が個別学力試験の科目で, 数学>理科(物理, 化学)>英語の順で力を入れて学習しなければならない。しかし, 受験科目に加え, 生徒個人の得手不得手や学力の到達度も考慮しなければならないので単純ではない。

したがって, 3年生の三者面談では, 進路検討会で話し合った内容をもとに, 具体的にどの科目をどのくらい, どんな教材を使って学習すればいいのか担任と話し合うはずである。三者面談で学習計画を立てたら, 進路実現に向けた学習を始めよう。

時間のボーナス夏休み。

高校生にとっては時間のボーナスといえる夏休みが始まる。とは言っても, 7月いっぱいには課外があり, その上いつもより長い部活動という生活で, 1年生の中にはへとへとになる人もいるだろう。しかし, ここを乗り越えれば高校生としての体力も学力も身に付く。

また, 8月からは例年になく長い3週間という休みに入る。おそらく部活動の合宿や大会参加等も計画されているだろう。夏に大き

く伸びる生徒も多い。熱中症に気をつけて, 存分に部活動に励もう。一方で, 1・2年生は学校があるときと同じリズムで, どれだけ学習できるかが学力向上の鍵である。宿題に計画的に取り組むように心がけよう。

部活動のない3年生は1日10時間は学習できるだろう。10時間学習をするコツは, まず午前中に4時間学習することだ。そうすれば, 昼間に2~3時間も学習すれば, 夜はいつも通り3~4時間学習するだけで良い。ここでガッツリ学習した生徒は, 我々の経験上, 10月中旬から12月にかけて面白いように学力が伸びる。自分を信じてがんばろう!

<大学・研究最前線>

3Dプリンターで何作ろう?

3Dプリンターで食品を作る試みが, 米国のコロンビア大学やNASA, 国内外の企業などで始まっている。

コロンビア大学のリブソン氏は, 食材をあらかじめ粉末にしておき, その粉末を吹き付けることで様々な料理を作り出そうという研究に取り組んでおり, 料理学校のシェフや教え子と共に, 新たなレシピの開発を試みている。すでにピザやロールケーキのようなお菓子などが作られるようになった。

NASAがこの技術に飛びついたように, 粉末にした食料は宇宙に持ち出す物資の体積を減らす上で非常に有効である。また3Dプリンターで多彩な食事を作られるなら, 宇宙での生活に潤いをもたらすだろう。

また, 咀嚼や飲み込むことが困難になり, やむを得ず病院食を利用する人々にとって, 3Dプリンターで作られる食事は魅力的にならないだろうか。3Dプリンターがもたらす新たな技術とビジネスチャンスに注目しよう。

ベクトル(Vector)

最近、「数学B」の授業で「ベクトル」を習いましたよね。

教科書45ページに「有効線分について、その位置を問題にせず、「向き」と「長さ」だけに着目したものを **ベクトル** という。」と書いてあります。

ベクトルとは、「空間における大きさと向きを持った量」。

言葉の由来はラテン語の「運ぶ」という意味で、それを踏まえて日常用語で使われることがあります。その際は、「方向性・目指す視点」などの意味になります。つまり、「**物事の向かう方向と勢い**」です。そう考えると、鹿児島中央高等学校の校章も3本のベクトルのように見えてきます。

7月13日(水)・14日(木)にクラスマッチが行われました。その週の努力目標と注意事項は以下のとおりでしたよね。

努力目標 「クラスマッチに向けてクラスの輪を深めよう」

注意事項 「クラスで協力して練習に取り組む」

皆さんの中には、クラスの勝利、チームの勝利に向かって一致団結し、昼休み等を利用して練習に励んだ生徒もいることでしょう。出場する選手の方向性がばらばらだと良くないですね。ですから、クラスの皆はベクトルを合わせて勝利に向かって頑張ったのではないですか。

さて、クラスによっては三者面談が始まっていると思います。皆さんの進路目標や将来の目標に皆さんの矢印(→)は向いていますか?長さ(大きさ)はどのくらいですか?合格へ向かってますか?勢いはありますか?

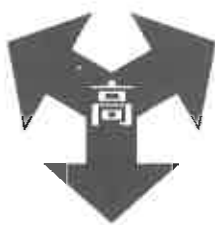
最後に、2人の言葉を紹介します。

そりゃ、僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。誰だってそうじゃないですか。つらいし、大抵はつまらないことの繰り返し。でも、僕は子供のころから、目標を持って努力するのが好きなんです。だってその努力が結果として出るのうれしいじゃないですか。
(イチロー / 現役メジャーリーガー)

ステップ・バイ・ステップ。どんなことでも、何かを達成する場合にとるべき方法はただひとつ、一歩ずつ着実に立ち向かうことだ。これ以外に方法はない。

Step by step. I can't see any other way of accomplishing anything.

(マイケル・ジョーダン / アメリカ 元プロバスケットボール選手)



鹿児島県立鹿児島中央高等学校

進路指導室だより

発行：進路指導部企画運営係

前期 進路検討会

去る6/9(木), 7/5(火), 6(水)の3日間、午後から進路検討会が行われた。

進路検討会では生徒1人1人の進路志望や学習態度に加えて、6月進研マーク模試や実力考査の結果も参考にして、進路志望を達成させるためにはどんな対策をとればいいのか、個々の適性にあった進路は何かということについて、3年生全員について議論した。

今回の進路検討会は、生徒の希望する学部学科の個別学力試験(2次試験)に合わせて、12月までの長い期間をどう勉強するか作戦を立てる会議である。例えば、工学部機械科志望であれば、受験科目は数学、物理、化学、英語が個別学力試験の科目で、数学>理科(物理、化学)>英語の順で力を入れて学習しなければならない。しかし、受験科目に加え、生徒個人の得手不得手や学力の到達度も考慮しなければならないので単純ではない。

したがって、3年生の三者面談では、進路検討会で話し合った内容をもとに、具体的にどの科目をどのくらい、どんな教材を使って学習すればいいのか担任と話し合うはずである。三者面談で学習計画を立てたら、進路実現に向けた学習を始めよう。

時間のボーナス夏休み。

高校生にとっては時間のボーナスといえる夏休みが始まる。とは言っても、7月いっぱいには課外があり、その上いつもより長い部活動という生活で、1年生の中にはへとへとになる人もいるだろう。しかし、ここを乗り越えれば高校生としての体力も学力も身に付く。

また、8月からは例年になく長い3週間という休みに入る。おそらく部活動の合宿や大会参加等も計画されているだろう。夏に大き

く伸びる生徒も多い。熱中症に気をつけて、存分に部活動に励もう。一方で、1・2年生は学校があるときと同じリズムで、どれだけ学習できるかが学力向上の鍵である。宿題に計画的に取り組むように心がけよう。

部活動のない3年生は1日10時間は学習できるだろう。10時間学習をするコツは、まず午前中に4時間学習することだ。そうすれば、昼間に2~3時間も学習すれば、夜はいつも通り3~4時間学習するだけで良い。ここでガッツリ学習した生徒は、我々の経験上、10月中旬から12月にかけて面白いように学力が伸びる。自分を信じてがんばろう!

<大学・研究最前線>

3Dプリンターで何作ろう?

3Dプリンターで食品を作る試みが、米国のコロンビア大学やNASA、国内外の企業などで始まっている。

コロンビア大学のリプソン氏は、食材をあらかじめ粉末にしておき、その粉末を吹き付けることで様々な料理を作り出そうという研究に取り組んでおり、料理学校のシェフや教え子と共に、新たなレシピの開発を試みている。すでにピザやロールケーキのようなお菓子などが作られるようになった。

NASAがこの技術に飛びついたように、粉末にした食料は宇宙に持ち出す物資の体積を減らす上で非常に有効である。また3Dプリンターで多彩な食事を作られるなら、宇宙での生活に潤いをもたらすだろう。

また、咀嚼や飲み込むことが困難になり、やむを得ず病院食を利用する人々にとって、3Dプリンターで作られる食事は魅力的にならないだろうか。3Dプリンターがもたらす新たな技術とビジネスチャンスに注目しよう。

【3学年】

「夏は受験の天王山」

早速ではあるが、お決まりの台詞を冒頭に掲げることにした。この台詞は嘘ではない。夏休みは受験生である諸君にとって極めて貴重な時期。理由はただ1つ。自由に使える時間がいつもと比べて圧倒的に多いからである。受験勉強というのはとにかく時間が多くかかるものだ。進めば進むほど、深めていけば深めていくほど、その傾向は強まっていく。だから好きなだけ時間を費やせる夏休みはとても大切であり、ここでの頑張りは大きな力となって、第一志望の合格をぐぐっと引き寄せることになるだろう。しかし、時間は全国の受験生に平等である。「今年の夏休みは集中して頑張るぞ!」と気合い十分で臨む諸君が多いと思うが、そんな能力があったら、とっくの昔に成績の心配なんてどこかに消え去っていたはず。頑張ったときの集中力なんて、受験生全員が似たようなものと考えていた方が無難なのだ。そのことだけで差をつけるのは単なる夢物語に過ぎない。そして、夏休み期間中は概して受験生の多くが全力疾走するものである。要するに、自分だけが有利な要素なんて、夏休みのどこにもないのである。自分が走っていれば、ライバルも走っているのだ。そういった感じは日常よりもさらに強く感じることになるのかもしれない。であれば、いつもよりも学習に費やす時間が長い分、足を止めた者はあつという間に遥か彼方まで置いて行かれることをも覚悟するべきである。だから走り続けるしかない、やり続けるしかないのだ!

【鉄則三箇条】～夏を有意義なものにするために…

- 一、「早起き」を実践するべし!
→涼しい早朝の時間帯を有効に活用する。
- 一、1日の学習量は問題を解いた数で計るべし!
→自力で解答できるレベルまで繰り返す。
- 一、学習室を積極的に利用するべし!
→登校が生活リズムの安定になる。

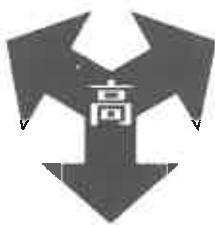


夏は開放的な季節であるとともに暑い暑い…。はつきり言って、勉強には向かない季節である。人間はとても弱い生き物なので、自ら強く意志を持たないと容易に楽な方へ流れてしまうものだ。放っておくと、自然な流れとしては勉強をしない方向へとなりがち。いつもよりも勉強しないような時、冒頭の台詞を呪文のように唱えて自らを煽ってみたらどうか? 普段よりも効果抜群に響くだろう。いやいや…もっと刺激的な呪文を! というのであれば…

「夏に頑張らない者は受験に失敗する」

ということになる。

以上



鹿児島県立鹿児島中央高等学校

進路指導室だより

発行：進路指導部企画運営係

前期 進路検討会

去る6/9(木), 7/5(火), 6(水)の3日間, 午後から進路検討会が行われた。

進路検討会では生徒1人1人の進路志望や学習態度に加えて, 6月進研マーク模試や実力考査の結果も参考にして, 進路志望を達成させるためにはどんな対策をとればいいのか, 個々の適性にあった進路は何かということについて, 3年生全員について議論した。

今回の進路検討会は, 生徒の希望する学部学科の個別学力試験(2次試験)に合わせて, 12月までの長い期間をどう勉強するか作戦を立てる会議である。例えば, 工学部機械科志望であれば, 受験科目は数学, 物理, 化学, 英語が個別学力試験の科目で, 数学>理科(物理, 化学)>英語の順で力を入れて学習しなければならない。しかし, 受験科目に加え, 生徒個人の得手不得手や学力の到達度も考慮しなければならないので単純ではない。

したがって, 3年生の三者面談では, 進路検討会で話し合った内容をもとに, 具体的にどの科目をどのくらい, どんな教材を使って学習すればいいのか担任と話し合うはずである。三者面談で学習計画を立てたら, 進路実現に向けた学習を始めよう。

時間のボーナス夏休み。

高校生にとっては時間のボーナスといえる夏休みが始まる。とは言っても, 7月いっぱいには課外があり, その上いつもより長い部活動という生活で, 1年生の中にはへとへとになる人もいよう。しかし, ここを乗り越れば高校生としての体力も学力も身に付く。

また, 8月からは例年になく長い3週間という休みに入る。おそらく部活動の合宿や大会参加等も計画されているだろう。夏に大き

く伸びる生徒も多い。熱中症に気をつけて, 存分に部活動に励もう。一方で, 1・2年生は学校があるときと同じリズムで, どれだけ学習できるかが学力向上の鍵である。宿題に計画的に取り組むように心がけよう。

部活動のない3年生は1日10時間は学習できるだろう。10時間学習をするコツは, まず午前中に4時間学習することだ。そうすれば, 昼間に2~3時間も学習すれば, 夜はいつも通り3~4時間学習するだけで良い。ここでガッツリ学習した生徒は, 我々の経験上, 10月中旬から12月にかけて面白いように学力が伸びる。自分を信じてがんばろう!

<大学・研究最前線>

3Dプリンターで何作ろう?

3Dプリンターで食品を作る試みが, 米国のコロンビア大学やNASA, 国内外の企業などで始まっている。

コロンビア大学のリプソン氏は, 食材をあらかじめ粉末にしておき, その粉末を吹き付けることで様々な料理を作り出そうという研究に取り組んでおり, 料理学校のシェフや教え子と共に, 新たなレシピの開発を試みている。すでにピザやロールケーキのようなお菓子などが作られるようになった。

NASAがこの技術に飛びついたように, 粉末にした食料は宇宙に持ち出す物資の体積を減らす上で非常に有効である。また3Dプリンターで多彩な食事を作られるなら, 宇宙での生活に潤いをもたらすだろう。

また, 咀嚼や飲み込むことが困難になり, やむを得ず病院食を利用する人々にとって, 3Dプリンターで作られる食事は魅力的にならないだろうか。3Dプリンターがもたらす新たな技術とビジネスチャンスに注目しよう。

『知識』という言葉は矮小化※されがちだが、機械的な暗記は知識ともいえないもの。『本わかり』を伴う知識は、高く深いレベルのもの。本質的な理解とは、『要するに何なのか?』ということに関して自問して答えられること。」

※ 矮小化 (わいしょうか) : こじんまりとすること。

事象の本質的でない部分を取り上げたり、断片化することにより、議論を小さくすること。

大学生に求める「知識」に関するインタビューで、東京大学入試担当理事、南風原 (はえばら) 副学長が述べた言葉です。早くも前期前半を終え、入学後初めての長期の休みを迎えようとしています。「あっという間だった」と感じている人もいれば、「やっとここまで来た…」と感じている人もいることでしょう。

高校生活の中で初めて経験した第54回文化祭、クラスマッチはhowでしたか。ステージ発表2クラス、展示発表6クラス。梅雨時期の蒸し暑い中、クラス全員で準備をする過程で、普通の学校生活の中ではなかなか気づかない良い面も見られ、団結力も生まれことだと思えます。クラスマッチは上級生のより高い団結力を目の当たりにし、高い技術に圧倒されながらも必死に食らいつき、級友のそうした姿に精一杯の応援をする、1年生らしい澁刺とした姿が印象的でした。



文化祭閉会式の立石教頭先生の講評を覚えていますか? 「文化祭という非日常を楽しむ。進学校の生徒にとっての"must" は勿論、勉強だが"must" でない部分にどういう形で取り組むかが、高校生活の充実度に関わる部分」といった内容でした。1年の約 1/3 を消化し、いよいよ高校生活で初めての夏休みを迎えます。23 日間という長期の休みです。ある意味、「非日常」の生活が約3週間続くわけです。君たちはこの膨大な時間をいかに使うつもりでしょうか?

3週間もあれば何だってできます。この「非日常」の時間を充実させることの重要性をしっかりと認識して下さい。もし、入学後4ヶ月間の「must」の部分の不十分であれば、南風原副学長の言葉にある『本わかり』を伴う知識が不十分であれば、挽回する絶好の機会です。苦手教科は可能な限り早い段階で克服しておく必要があります。後回しにすればするほど傷口が広がることを考えれば、この機会しかないのかもしれないかもしれません。自分に足りない部分を補いながら、充実した「非日常」を経て、その後の"must"の部分にしっかりとつなげていってくださることを期待しています。

「文理選択」について…

「文系」「理系」いずれのコースを選択するかは、将来の目標や展望につながる、高校3年間の中で最も重要な決断の作業です。「文理選択」とは、進学する大学の学部・学科の範囲を限定すること、言い換えれば、他の選択肢をなくすことです。数年後の姿をイメージすることは決して簡単なことではありませんが、多くの情報を収集しながら、適性・関心・能力・学力等を総合的に「自分が主体的に学べる場」が何処なのか判断して欲しいと思います。

夏休みが終わると、本格的な文理選択の時期に入ります。「自分の将来の夢 (将来やりたいこと)」「学びたいこと」が最優先事項ですが、先日の進路志望調査によると、54期生の9割以上の生徒が国公立大学への進学を志望しています。大学に進学するのが最終目的ではありませんが、厳しい受験を前向きに乗り越えていくためには「好きな教科・得意な教科」であるという自信の後押しも「文理選択」の重要な要因の一つになってきます。

※「自分の将来の夢」が未だ見つからない生徒諸君へ

「文理選択」は、自分自身を見つめ直すと同時に、周囲が自分をどう見ているのかを知るいい機会でもあります。両親は勿論、クラスメイト、担任の先生、教科担任の先生、部活動の顧問等から多くの「セカンドオピニオン※」を収集して下さい。たとえそれが、直接「文理選択」に関わるものでなかったにしても、今まで気づいていなかった自分自身のいい面を知り、認識することで、前向きに頑張っていくきっかけになるかもしれません。まずは自ら積極的に行動してみましょう。

セカンドオピニオン※ (英: Second opinion) とは、よりよい決断をするために、当事者以外の専門的な知識を持った第三者に求める「意見」、または「意見を求める行為」のこと。日本においては主に医療の分野で用いられる用語。

(文責 1学年主任 西中間)